

令和7年第6回 総務文教委員会会議録

令和7年11月18日

第2委員会室

開 会： 午前10時14分

委員長 伊藤 勝彦

副委員長 林 貴光

2番委員 千賀 丈史、3番委員 渡辺 武彦、4番委員 服部 紀史、5番委員 平林 多津子

委員長 ; それでは、ただいまから令和7年第6回総務文教委員会を開会いたします。

本日の会議は、先ほどの本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は、別紙の次第書の順序で行いますので、よろしく願いいたします。

それでは議題に入りますが、議案の内容は本会議において詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めさせていただきます。

発言及び反問につきましては、委員長の許可を得て、必ずマイクのランプが点灯していることを確認し、着座にて、マイクに向かって簡潔に質疑・答弁をされますようお願いをいたします。

委員長 ; それでは「議第86号 令和7年度恵那市一般会計補正予算（第5号）（歳入歳出所管部分）」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありますか。

5番委員。

5番委員 ; お願いします。今回、国際交流推進事業費ということで1,600万円が計上されているわけですが、財源として市民のまちづくり基金繰入金となっています。私は中身で言ったら恵那市国際交流振興基金かと思ったのですが、このまちづくり基金とされた理由を1点お尋ねしたいです。

2点目は、全員協議会の説明の中で、県との交渉で組替えがありうるというお話でしたが、これはどのような形でいつ頃出されるのかという2点お願いいたします。

委員長 ; 交流連携課長。

交流連携課長 ; よろしくお願ひします。まず1つ目の点ですね、市民のまちづくり基金の中にふるさと納税のおまかせ応援メニューがあり、現在2億円ほどありますが、国際交流振興基金は、今まで恵那市国際交流協会への支援に使ってきたことから、そちらはそのまま継続させていただき、今回の財源は、市民のまちづくり基金の中のふるさと納税の寄附金で積み上げた分のおまかせ応援分で充当させていただいたものになります。

また県の補助金については、現在、県と要望のやりとりをしていますので、恐らく3月の議会になるかと思いますが、交付決定された後に組替えをさせていただくことを考えております。

以上です。

委員長 ; はい。ほかにありませんか。

5番委員。

5番委員 ; 今ちょっとお聞きしていて、国際交流振興基金って今どれくらいあるのか。お尋ねしてよろしいですか。調べればいいのかと思いますが。すぐに出なければいいです。

委員長 ; 交流連携課長。

交流連携課長 ; 後ほど。

委員長 ; ほかにありませんか。

財務課長。

財務課長 ; 国際交流振興基金につきましては、令和6年度決算において令和6年度末では、6,423万8,000円となっております。

以上です。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論ありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第86号」は原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第86号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員長 ; 以上で予定の議題を全て終了しました。

最後に本会議における、委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一任いただくことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ありがとうございます。

それではこれをもちまして、令和7年第6回総務文教委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前10時18分閉会

恵那市議会委員会条例第30条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 総務文教委員長 伊藤 勝彦